

次年度の課題と改善に向けて

滋賀県立玉川高等学校

1 学習指導

本校の生徒や保護者は、家庭での学習習慣につながる指導や取り組みへの期待が大きい。導入から2年目となるBYODを推進し、ICT機器や学習ツールの有効活用に努めることによって、期待に応え得る授業づくりを進める。

また、学習活動を通じて生徒一人ひとりの可能性を引き出せるよう、学年と分掌が連携して指導・支援に努める。

2 生徒指導

本校生徒は、ルールへの遵守やマナーの向上に努める意識が高い。近隣住民から信頼される交通ルールや、SNSのトラブルを回避するためのスマホ使用のルールやマナーなど、正しい知識を身に付けさせるための日常的な指導に努めるとともに、講演会などにより効果的な指導を行う。

3 学校図書館

図書館の取り組みや活用には高い評価を得ているが、依然として読書習慣を持たない生徒が一定数存在する。朝学習や総合的な探究の時間など、本に触れあう機会の創出に引き続き取り組んでいく。

4 学校の取組み

令和4年度はホームページを活用したタイムリーな情報提供に努めたが、未だ生徒や保護者の閲覧の増加にはつながっていない。ホームページの有効活用につながるよう、創意工夫に取り組んでいく。

生徒も保護者も学校行事に対する関心が高く、実施した際には充実感や達成感が得られるものであることを実感している。学校の特色ある行事等を実施していく。

総合的な探究の時間が3年間を通じて自らの成長を感じられる充実した授業となり、玉川高校の特徴的な取り組みとなることを目指す。